

水槽を使ったM炭の調湿実験

備長炭とM炭との比較



国産備長炭実験スタート 25°C81%



M炭実験スタート 26°C88%



10分後、湿度が1%上昇82%に。



10分後、M炭マットは湿度を77%に11%湿度を下げています。



約一時間後、湿度は変わりません。



一時間後、M炭マットは湿度を65%に23%湿度を下げています。

水槽を使った調湿実験

密閉された水槽の中の湿度を強制的に湿度82%にして、国産備長炭とM炭マットの入れた水槽で湿度の変化を観察してみました。備長炭の水槽へ熱湯の容器を入れ13:05に26°C81%になり容器を取り出し備長炭を入れ測定。M炭マットの水槽に熱湯の容器を入れ13:04に23°C88%になり容器を出しM炭を入れ測定。10分後、備長炭の水槽は、湿度が82%に1時間後も開始時と変化が有りませんでした。M炭マットの水槽は10分後湿度が、77%に1時間後湿度が65%に23%下がっています。

備長炭は一度湿度を吸ってしまうと、動きが鈍くなるのが分かります。